

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書作成	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となる知識を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1	ビジネス文書の基礎
	2	文字入力の基礎
	3	ビジネス文書作成（案内文①）
	4	ビジネス文書作成（案内文②）
	5	ビジネス文書作成（送付状①）
	6	ビジネス文書作成（送付状②）
	7	ビジネス文書作成（社内文書①）
	8	ビジネス文書作成（社内文書②）
	9	ビジネス文書作成（表作成①）
	10	ビジネス文書作成（表作成②）
	11	ビジネス文書作成（表作成③）
	12	ビジネス文書作成（文章と表の組み合わせ①）
	13	ビジネス文書作成（文章と表の組み合わせ②）
	14	ビジネス文書作成（メール文章・メールの設定③）
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義及び実習	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ビジネスマナーの基礎知識
	2	身だしなみと立ち居振る舞い
	3	敬語とビジネス用語
	4	応接・接遇のマナー
	5	電話応対基礎編（講義）
	6	電話応対基礎編（練習）
	7	電話応対基礎編（実践練習）
	8	電話応対応用編（講義）
	9	電話応対応用編（練習）
	10	電話応対応用編（実践練習）
	11	模擬効果測定準備
	12	模擬効果測定
	13	模擬効果測定結果検証
	14	伝言を含む電話応対（講義 1）
	15	伝言を含む電話応対（練習 1）
	16	伝言を含む電話応対（講義 2）
	17	伝言を含む電話応対（練習 2）
	18	伝言を含む電話応対（実践練習 1）
	19	伝言を含む電話応対（実践練習 2）
	20	第 1 回効果測定準備 1
	21	第 1 回効果測定準備 2
	22	第 1 回効果測定
	23	第 2 回効果測定準備
	24	第 2 回効果測定
	25	第 3 回効果測定準備
	26	第 3 回効果測定
	27	電話での道案内
	28	クレーム対応
	29	冠婚葬祭のマナー
	30	様々な場面でのマナー
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級に合格する	
教科書	問題集・プリント・模擬試験	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名
	2	熟語
	3	異字同訓・同音異義
	4	誤字訂正
	5	類義語
	6	対義語
	7	漢字の意味・使い方
	8	項目別模擬試験①
	9	項目別模擬試験②
	10	項目別模擬試験③
	11	直前模擬試験①
	12	直前模擬試験②
	13	直前模擬試験③
	14	直前模擬試験④
	15	直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 1 級に合格する	
教科書	問題集・プリント・模擬試験	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語
	2	同音異義・異字同訓
	3	誤字訂正・類義語・反対語
	4	漢字の意味・使い方
	5	ことわざ・故事成語・慣用句①
	6	ことわざ・故事成語・慣用句②
	7	特殊な漢字の読み書き
	8	項目別模擬試験①
	9	項目別模擬試験②
	10	効果測定
	11	直前模擬試験①
	12	直前模擬試験②
	13	直前模擬試験③
	14	直前模擬試験④
	15	直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 A	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCELの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	パソコンの基本操作①
	2	パソコンの基本操作②
	3	パソコンの基本操作③
	4	パソコンの基本操作④
	5	マイクロソフトオフィスの機能
	6	WORDの基本操作①
	7	WORDの基本操作②
	8	WORDの基本操作③
	9	WORDの基本操作④
	10	WORD効果測定
	11	EXCELの基本操作①
	12	EXCELの基本操作②
	13	EXCELの基本操作③
	14	EXCELの基本操作④
	15	EXCEL効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員教養論作文対策	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う	
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う	
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身に付ける	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	論作文の書き方と正しい用紙の使い方
	2	試験種別作文テーマの傾向
	3	基本テーマによる論作文
	4	添削および返却答案の修正
	5	模範論作文の研究
	6	論作文練習①
	7	論作文練習②
	8	論作文練習③
	9	論作文練習④
	10	論作文練習⑤
	11	論作文練習⑥
	12	論作文練習⑦
	13	論作文練習⑧
	14	論作文練習⑨
	15	論作文練習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％ 授業への参加姿勢、提出した論作文の完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事（政治①）
	2	時事（政治②）
	3	時事（政治③）
	4	時事（経済①）
	5	時事（経済②）
	6	時事（文化①）
	7	時事（文化②）
	8	時事（文化③）
	9	時事（科学①）
	10	時事（科学②）
	11	時事（科学③）
	12	時事（科学④）
	13	時事（科学⑤）
	14	時事（国際問題①）
	15	時事（国際問題②）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト・模擬試験	
特記		
授業計画	1	適性試験練習1
	2	適性試験練習2
	3	適性試験練習3
	4	適性試験練習4
	5	適性試験練習5
	6	適性試験練習6
	7	適性試験練習7
	8	適性試験練習8
	9	適性試験練習9
	10	適性試験練習10
	11	適性試験練習11
	12	適性試験練習12
	13	適性試験練習13
	14	適性試験練習14
	15	適性試験練習15
	16	適性試験練習16
	17	適性試験練習17
	18	適性試験練習18
	19	模擬試験（適性試験）1
	20	模擬試験（適性試験）2
	21	模擬試験（適性試験）3
	22	模擬試験（適性試験）4
	23	模擬試験（適性試験）5
	24	模擬試験（適性試験）6
	25	模擬試験（適性試験）7
	26	模擬試験（適性試験）8
	27	模擬試験（適性試験）9
	28	模擬試験（適性試験）10
	29	模擬試験（適性試験）11
	30	模擬試験（適性試験）12
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅰ 数的処理	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	24時間	
授業回数	12回	
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	方程式・不等式・整数・計算パズル
	2	割合と比
	3	速さ・仕事算
	4	場合の数・確率
	5	論理・集合と要素の個数
	6	順序・対応
	7	位置と方位・勝ち負け・カード・ウソの発言
	8	推理・手順・暗号・家系図
	9	折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図・平面図形の構成
	10	サイコロ・見取り図と投影図・積木・立体の切断・回転体・一筆書き
	11	平面図形の計量
	12	立体図形の計量・資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践言語Ⅰ 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	15時間	
授業回数	8回	
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握①、四字熟語①
	2	要旨把握②、四字熟語②
	3	内容合致①、ことわざ①
	4	内容合致②、ことわざ②
	5	文章整除①、文法基礎①
	6	文章整除②、文法基礎②
	7	文章の穴埋め①、敬語①
	8	文章の穴埋め②、敬語②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学Ⅲ 生物・物理・化学	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	生体・ヒトのからだの仕組みを中心とした生物分野、力学を中心とした物理分野および化学理論・化学各論（無機化合物）を中心とした化学分野を学ぶ	
授業の進め方	スタンダード問題集を用いた問題演習とテキストを用いたフォロー講義	
達成目標	一般教養として必要な生物・物理・化学の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト・デジタルテキスト・スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生物（生体内の代謝・遺伝と変異）
	2	生物（刺激の受容と反応・内部環境の恒常性と調節）
	3	物理（運動の表現・力）
	4	物理（エネルギー・運動量・熱）
	5	物理（波動・電気）
	6	化学（物質の構造）
	7	化学（物質の状態・物質の変化）
	8	化学（無機化合物）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践答案練習 I	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	4 8 時間	
授業回数	2 4 回	
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する	
達成目標	第 2 0 回目以降の模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①
	2	基礎的なレベルの模擬試験②
	3	基礎的なレベルの模擬試験③
	4	基礎的なレベルの模擬試験④
	5	基礎的なレベルの模擬試験⑤
	6	基礎的なレベルの模擬試験⑥
	7	基礎的なレベルの模擬試験⑦
	8	基礎的なレベルの模擬試験⑧
	9	基礎的なレベルの模擬試験⑨
	10	基礎的なレベルの模擬試験⑩
	11	基礎的なレベルの模擬試験⑪
	12	基礎的なレベルの模擬試験⑫
	13	基礎的なレベルの模擬試験⑬
	14	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑭
	15	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑮
	16	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑯
	17	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑰
	18	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑱
	19	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑲
	20	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑳
	21	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験㉑
	22	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験㉒
	23	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験㉓
	24	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験㉔
成績評価方法 (試験実施方法)	第1回から第19回までは模擬試験の取り組み姿勢、第20回から第24回までは模擬試験成績にて評価	
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	実践答案練習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律実務学科			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	必修			
授業方法	演習			
授業時間	9 0 時間			
授業回数	4 5 回			
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する			
達成目標	基礎的な内容に実践的な問題を含む50題の模擬試験で30点以上を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験①	31	国家公務員タイプの模擬試験⑫
	2	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験②	32	国家公務員タイプの模擬試験⑬
	3	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験③	33	地方公務員タイプの模擬試験①
	4	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験④	34	地方公務員タイプの模擬試験②
	5	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑤	35	地方公務員タイプの模擬試験③
	6	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑥	36	地方公務員タイプの模擬試験④
	7	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑦	37	地方公務員タイプの模擬試験⑤
	8	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑧	38	地方公務員タイプの模擬試験⑥
	9	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑨	39	地方公務員タイプの模擬試験⑦
	10	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑩	40	地方公務員タイプの模擬試験⑧
	11	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑪	41	地方公務員タイプの模擬試験⑨
	12	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑫	42	地方公務員タイプの模擬試験⑩
	13	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑬	43	地方公務員タイプの模擬試験⑪
	14	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑭	44	地方公務員タイプの模擬試験⑫
	15	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑮	45	地方公務員タイプの模擬試験⑬
	16	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑯		
	17	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑰		
	18	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑱		
	19	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験⑲		
	20	国家公務員タイプの模擬試験①		
	21	国家公務員タイプの模擬試験②		
	22	国家公務員タイプの模擬試験③		
	23	国家公務員タイプの模擬試験④		
	24	国家公務員タイプの模擬試験⑤		
	25	国家公務員タイプの模擬試験⑥		
	26	国家公務員タイプの模擬試験⑦		
	27	国家公務員タイプの模擬試験⑧		
	28	国家公務員タイプの模擬試験⑨		
	29	国家公務員タイプの模擬試験⑩		
	30	国家公務員タイプの模擬試験⑪		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％ 模擬試験における得点で評価			
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	2 8 時間	
授業回数	1 4 回	
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	政治の基本理念、政治制度論
	2	基本的人権①
	3	基本的人権②
	4	国会の機構と運営
	5	内閣の機構と運営
	6	裁判所の機構と運営
	7	地方自治、選挙制度
	8	現代の企業、現代の市場
	9	国民所得
	10	通貨制度と金融政策
	11	財政制度と財政政策
	12	貿易と外国為替
	13	社会総合①
	14	社会総合②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 100問の知識習得状況を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	2 4 時間	
授業回数	1 2 回	
授業概要	地理・歴史・倫理の実践的知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着	
教科書	スタンダード問題集（第1講～第9講）・デジタルテキスト（第10講～第11講）	
特記		
授業計画	1	日本史（原始、古代）
	2	日本史（中世、近世①）
	3	日本史（近世②、近代①）
	4	日本史（近代②、現代・通史）
	5	地理（自然環境と地図）
	6	地理（資源と産業、生活と地域）
	7	地理（日本の地理）
	8	地理（世界の地理）
	9	世界史（東洋世界）
	10	世界史（現代世界）
	11	倫理（西洋思想）
	12	倫理（東洋思想）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100％ 正誤50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅰ 地理	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形
	2	世界の気候
	3	世界の農業
	4	世界の資源
	5	世界の工業
	6	地図の特色と利用
	7	生活と地域
	8	日本地誌
	9	世界地誌（アジア、アフリカ）
	10	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験100% 正誤50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	大和政権と大化の改新
	2	平安時代
	3	鎌倉時代
	4	室町時代
	5	封建社会の確立
	6	江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）
	7	江戸時代（幕末）、明治維新
	8	立憲体制の確立
	9	近代文化の発展
	10	大正、昭和
	11	中国史 1 （殷～漢）
	12	中国史 2 （魏晋南北朝～隋、唐）
	13	中国史 3 （宋、元）
	14	中国史 4 （明、清）
	15	中国史 5 （清の崩壊、中華民国）
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 正誤50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ⅳ 数的総合	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	数的推理の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式（方程式）
	2	方程式（不等式）（過不足算）
	3	方程式（平均算）（年齢算）
	4	整数・計算パズル（約数と倍数）
	5	整数・計算パズル（割り算の余り・整数の性質・カレンダー）
	6	整数・計算パズル（数列・魔方陣）
	7	整数・計算パズル（虫食算・覆面算・n 進法）
	8	割合と比（割合）
	9	割合と比（比）
	10	割合と比（売買算）
	11	割合と比（濃度）
	12	速さ（速さ）
	13	速さ（旅人算・通過算）
	14	速さ（流水算・時計算）
	15	仕事算（仕事算）
	16	仕事算（給排水算・ニュートン算）
	17	場合の数（場合の数・順列）
	18	場合の数（組合せ・道順）
	19	確率（事象と確率・赤玉白玉）
	20	確率（赤玉白玉・くじ引き・サイコロ・コイン）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％ 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅰ 数的処理	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	配布プリント・オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式、不等式
	2	整数、計算パズル 1
	3	整数、計算パズル 2、割合と比 1
	4	割合と比 2、速さ
	5	速さ、仕事算、場合の数 1
	6	場合の数 2、確率
	7	科目試験 1
	8	論理、集合と要素の個数
	9	順序
	10	対応
	11	位置と方位、勝ち負け
	12	勝ち負け、カード、ウソの発言
	13	推理・手順、暗号
	14	科目試験 2
	15	折り紙、回転の軌跡、正多面体、展開図
	16	平面図形の構成、サイコロ
	17	見取り図と投影図、積木、立体の切断、回転体、一筆書き
	18	平面図形の計量 1
	19	平面図形の計量 2、立体図形の計量
	20	科目試験 3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	科目試験 1 ・科目試験 2 の実施コマつき、授業計画と変更になることがある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅱ 社会科学	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	2 8 時間	
授業回数	1 4 回	
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	デジタルテキスト・配布プリント	
特記		
授業計画	1	政治の基本理念、政治制度論
	2	基本的人権①
	3	基本的人権②
	4	国会の機構と運営
	5	内閣の機構と運営
	6	裁判所の機構と運営
	7	地方自治、選挙制度
	8	科目試験 1
	9	現代の企業、現代の市場
	10	国民所得
	11	通貨制度と金融政策
	12	財政制度と財政政策
	13	貿易と外国為替、国際経済の動向
	14	科目試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	歴史・地理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	日本史（原始・古代・中世Ⅰ）
	2	日本史（中世Ⅱ・近世）
	3	日本史（近代以降）
	4	地理（自然環境と地図）
	5	地理（資源と産業・生活と地域）
	6	地理（日本地誌・世界地誌Ⅰ）
	7	地理（世界地誌Ⅱ）
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生物（生体の構造、生体内の代謝）
	2	生物（生殖と発生、遺伝と変異）
	3	生物（刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調節）
	4	生物（生物の集団、生物の進化と系統）
	5	地学（地球の姿と動く大地）
	6	地学（岩石、地球と人類）
	7	地学（大気と海洋、太陽系と宇宙の構造）
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅴ 知能系科目総合	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択Ⅱ	
授業方法	演習	
授業時間	60 時間	
授業回数	30 回	
授業概要	問題演習を通じて数的推理・判断推理の総復習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	数的推理・判断推理分野の基礎知識を定着させる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	数的推理の基礎知識の復習（方程式）
	2	数的推理の基礎知識の復習（不等式）
	3	数的推理の基礎知識の復習（整数）
	4	数的推理の基礎知識の復習（整数）
	5	数的推理の基礎知識の復習（計算パズル）
	6	数的推理の基礎知識の復習（比）
	7	数的推理の基礎知識の復習（比）
	8	数的推理の基礎知識の復習（速さ）
	9	数的推理の基礎知識の復習（速さ）
	10	数的推理の基礎知識の復習（仕事算）
	11	数的推理の基礎知識の復習（仕事算）
	12	数的推理の基礎知識の復習（場合の数）
	13	数的推理の基礎知識の復習（場合の数）
	14	数的推理の基礎知識の復習（確率）
	15	数的推理の基礎知識の復習（確率）
	16	判断推理の基礎知識の復習（論理）
	17	判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数）
	18	判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数）
	19	判断推理の基礎知識の復習（順序）
	20	判断推理の基礎知識の復習（順序）
	21	判断推理の基礎知識の復習（対応）
	22	判断推理の基礎知識の復習（対応）
	23	判断推理の基礎知識の復習（位置と方位）
	24	判断推理の基礎知識の復習（位置と方位）
	25	判断推理の基礎知識の復習（勝ち負け）
	26	判断推理の基礎知識の復習（カード・ゲーム）
	27	判断推理の基礎知識の復習（推理・手順）
	28	判断推理の基礎知識の復習（暗号）
	29	判断推理の基礎知識の復習（暗号）
	30	判断推理の基礎知識の復習（家系図）
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% レポートの提出状況・完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅵ 知識系科目総合	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	問題演習を通じて知識系科目全体の総復習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公務に必要な一般教養の幅広い知識を定着させる	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	政治の基礎知識の復習（国家と政治制度）
	2	政治の基礎知識の復習（基本的人権①）
	3	政治の基礎知識の復習（基本的人権②）
	4	政治の基礎知識の復習（統治機構①）
	5	政治の基礎知識の復習（統治機構②）
	6	政治の基礎知識の復習（地方自治）
	7	政治の基礎知識の復習（選挙制度）
	8	経済の基礎知識の復習（現代の企業と市場）
	9	経済の基礎知識の復習（国民所得）
	10	経済の基礎知識の復習（金融政策）
	11	経済の基礎知識の復習（財政政策）
	12	経済の基礎知識の復習（日本経済の動向）
	13	経済の基礎知識の復習（貿易と外国為替）
	14	経済の基礎知識の復習（国際経済の動向）
	15	社会の基礎知識の復習（社会理論）
	16	社会の基礎知識の復習（労働問題と環境問題）
	17	地理の基礎知識の復習（地形）
	18	地理の基礎知識の復習（気候）
	19	地理の基礎知識の復習（農業）
	20	地理の基礎知識の復習（資源）
	21	地理の基礎知識の復習（工業）
	22	地理の基礎知識の復習（世界地誌）
	23	地理の基礎知識の復習（日本地誌）
	24	日本史の基礎知識の復習（奈良・平安時代）
	25	日本史の基礎知識の復習（鎌倉・室町時代）
	26	日本史の基礎知識の復習（安土桃山時代）
	27	日本史の基礎知識の復習（江戸時代）
	28	日本史の基礎知識の復習（明治維新）
	29	日本史の基礎知識の復習（立憲体制の確立）
	30	日本史の基礎知識の復習（日清・日露戦争）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% レポートの提出状況・完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	災害対策に関する講義を受け研究および発表を通じ防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究・プレゼンテーション	
達成目標	災害の基礎知識を身に付け組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	災害対策の実例（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	課題研究 3
	6	課題研究 4
	7	課題研究 5
	8	課題研究 6
	9	研究発表シナリオ作成 1
	10	研究発表シナリオ作成 2
	11	研究発表準備 1
	12	研究発表準備 2
	13	模擬プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100%	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	公官庁の職種に関する理解を深める	
授業の進め方	公官庁の職種に関する講義を聞き必要に応じてレポート記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	職種別ガイダンス 1
	2	職種別ガイダンス 2
	3	職種別ガイダンス 3
	4	職種別ガイダンス 4
	5	職種別ガイダンス 5
	6	職種別ガイダンス 6
	7	職種別ガイダンス 7
	8	職種別ガイダンス 8
	9	職種別ガイダンス 9
	10	職種別ガイダンス 10
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加回数ならびに参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加回数・参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 B	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加回数・参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員キャリアデザインⅠ			
実務家教員				
学部・学科	法律実務学科			
履修年次	1 年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択 B			
授業方法	演習			
授業時間	9 0 時間			
授業回数	4 5 回			
授業概要	就職活動に必要な所作を学び、公務員試験合格に向けた面接指導を行う			
授業の進め方	講義で基本的スキルを学び、座学終了後は実践を取り入れて進行する			
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる			
教科書	ガイドブック・デジタルテキスト			
特記				
授業計画	1	面接の基本	31	模擬面接（職種⑤1回目）
	2	自己分析	32	模擬面接（職種⑤2回目）
	3	エントリーシート①	33	模擬面接（職種⑤3回目）
	4	エントリーシート②	34	受験職種研究（職種⑥）
	5	エントリーシート③	35	模擬面接（職種⑥1回目）
	6	効果測定①（入退室・自己分析）	36	模擬面接（職種⑥2回目）
	7	面接質問項目	37	模擬面接（職種⑥3回目）
	8	志望動機	38	受験職種研究（職種⑦）
	9	面接カードの作成①	39	模擬面接（職種⑦1回目）
	10	面接カードの作成②	40	模擬面接（職種⑦2回目）
	11	効果測定②（全般）	41	模擬面接（職種⑦3回目）
	12	集団討論対策①	42	受験職種研究（職種⑧）
	13	集団討論対策②	43	模擬面接（職種⑧1回目）
	14	受験職種研究（職種①）	44	模擬面接（職種⑧2回目）
	15	模擬面接（職種①1回目）	45	模擬面接（職種⑧3回目）
	16	模擬面接（職種①2回目）		
	17	模擬面接（職種①3回目）		
	18	受験職種研究（職種②）		
	19	模擬面接（職種②1回目）		
	20	模擬面接（職種②2回目）		
	21	模擬面接（職種②3回目）		
	22	受験職種研究（職種③）		
	23	模擬面接（職種③1回目）		
	24	模擬面接（職種③2回目）		
	25	模擬面接（職種③3回目）		
	26	受験職種研究（職種④）		
	27	模擬面接（職種④1回目）		
	28	模擬面接（職種④2回目）		
	29	模擬面接（職種④3回目）		
	30	受験職種研究（職種⑤）		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％ 実技による効果測定			
備考	授業順序は前後することがある			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事研究	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する	
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる	
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	情報収集と考察 テーマ 1
	2	情報収集と考察 テーマ 2
	3	情報収集と考察 テーマ 3
	4	情報収集と考察 テーマ 4
	5	情報収集と考察 テーマ 5
	6	情報収集と考察 テーマ 6
	7	情報収集と考察 テーマ 7
	8	情報収集と考察 テーマ 8
	9	情報収集と考察 テーマ 9
	10	情報収集と考察 テーマ 1 0
	11	情報収集と考察 テーマ 1 1
	12	情報収集と考察 テーマ 1 2
	13	情報収集と考察 テーマ 1 3
	14	情報収集と考察 テーマ 1 4
	15	情報収集と考察 テーマ 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	レポート100% 提出物の成果を評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員倫理	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	公務員に関する法令や服務規程を学ぶ	
授業の進め方	講義をもとに各自研究課題を作成する	
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	公務員制度
	2	公務員服務規程
	3	業務上のマナー
	4	公務員関連の法令研究 1
	5	公務員関連の法令研究 2
	6	公務員服務規程の研究 1
	7	公務員服務規程の研究 2
	8	レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務 I	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回 ※ 8 回目のみ 6 0 分	
授業概要	官公庁等から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官公庁・法律研究を行う	
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官公庁研究を通して、公務員の仕事内容や業務に関係する法律基礎知識を理解する	
教科書	なし	
特記	有識者（公務員または法律実務家）による講義を基にした演習	
授業計画	1	実務経験者（公務員）における講義
	2	官公庁研究
	3	レポート作成1
	4	レポート作成2
	5	実務経験者（法律実務家）における講義
	6	法律研究
	7	レポート作成1
	8	レポート作成2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	主官庁の研究を行う	
授業の進め方	講義を実施後各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁研究を通じて公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	官庁に関する講義①
	2	レポート作成 1
	3	レポート作成 2
	4	レポート作成 3
	5	官庁に関する講義②
	6	レポート作成 1
	7	レポート作成 2
	8	レポート作成 3
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	主官庁の研究	
授業の進め方	講義を実施後各自研究課題作成・プレゼンテーション	
達成目標	官庁研究を通じて公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	官庁に関する講義①
	2	官庁に関する講義②
	3	個人研究
	4	グループワーク①
	5	グループワーク②
	6	グループワーク③
	7	グループワーク④
	8	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	官庁に関する講義から得た知識を基に研究を行う	
授業の進め方	官庁に関する講義を受け各自課題作成・プレゼンテーション	
達成目標	主な官庁研究を通じて公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	官庁に関する講義
	2	個人研究①
	3	個人研究②
	4	グループワーク①
	5	グループワーク②
	6	グループワーク③
	7	グループワーク④
	8	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅴ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	主官庁の研究を行う	
授業の進め方	官庁に関する講義を受け各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁研究を通じて公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	官庁に関する講義①
	2	レポート作成 1
	3	レポート作成 2
	4	レポート作成 3
	5	官庁に関する講義②
	6	レポート作成 1
	7	レポート作成 2
	8	レポート作成 3
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	法律実務学科			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択 B			
授業方法	演習			
授業時間	1 0 8 時間			
授業回数	5 4 回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験①	31	地方公務員タイプの模擬試験③
	2	模擬試験①の解説	32	模擬試験③の解説
	3	国家公務員タイプの模擬試験②	33	地方公務員タイプの模擬試験④
	4	模擬試験②の解説	34	模擬試験④の解説
	5	国家公務員タイプの模擬試験③	35	地方公務員タイプの模擬試験⑤
	6	模擬試験③の解説	36	模擬試験⑤の解説
	7	国家公務員タイプの模擬試験④	37	地方公務員タイプの模擬試験⑥
	8	模擬試験④の解説	38	模擬試験⑥の解説
	9	国家公務員タイプの模擬試験⑤	39	地方公務員タイプの模擬試験⑦
	10	模擬試験⑤の解説	40	模擬試験⑦の解説
	11	国家公務員タイプの模擬試験⑥	41	地方公務員タイプの模擬試験⑧
	12	模擬試験⑥の解説	42	模擬試験⑧の解説
	13	国家公務員タイプの模擬試験⑦	43	地方公務員タイプの模擬試験⑨
	14	模擬試験⑦の解説	44	模擬試験⑨の解説
	15	国家公務員タイプの模擬試験⑧	45	地方公務員タイプの模擬試験⑩
	16	模擬試験⑧の解説	46	模擬試験⑩の解説
	17	国家公務員タイプの模擬試験⑨	47	地方公務員タイプの模擬試験⑪
	18	模擬試験⑨の解説	48	模擬試験⑪の解説
	19	国家公務員タイプの模擬試験⑩	49	地方公務員タイプの模擬試験⑫
	20	模擬試験⑩の解説	50	模擬試験⑫の解説
	21	国家公務員タイプの模擬試験⑪	51	地方公務員タイプの模擬試験⑬
	22	模擬試験⑪の解説	52	模擬試験⑬の解説
	23	国家公務員タイプの模擬試験⑫	53	地方公務員タイプの模擬試験⑭
	24	模擬試験⑫の解説	54	模擬試験⑭の解説
	25	国家公務員タイプの模擬試験⑬		
	26	模擬試験⑬の解説		
	27	地方公務員タイプの模擬試験①		
	28	模擬試験①の解説		
	29	地方公務員タイプの模擬試験②		
	30	模擬試験②の解説		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価			
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律実務学科			
履修年次	1 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択 B			
授業方法	演習			
授業時間	1 0 2 時間			
授業回数	5 1 回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	本試験レベルの模擬試験①	31	本試験レベルの模擬試験⑩
	2	模擬試験①の解説	32	模擬試験⑩の解説
	3	本試験レベルの模擬試験②	33	本試験レベルの模擬試験⑪
	4	模擬試験②の解説	34	模擬試験⑪の解説
	5	本試験レベルの模擬試験③	35	本試験レベルの模擬試験⑫
	6	模擬試験③の解説	36	模擬試験⑫の解説
	7	本試験レベルの模擬試験④	37	本試験レベルの模擬試験⑬
	8	模擬試験④の解説	38	模擬試験⑬の解説
	9	本試験レベルの模擬試験⑤	39	本試験レベルの模擬試験⑭
	10	模擬試験⑤の解説	40	模擬試験⑭の解説
	11	本試験レベルの模擬試験⑥	41	本試験レベルの模擬試験⑮
	12	模擬試験⑥の解説	42	模擬試験⑮の解説
	13	本試験レベルの模擬試験⑦	43	本試験レベルの模擬試験⑯
	14	模擬試験⑦の解説	44	模擬試験⑯の解説
	15	本試験レベルの模擬試験⑧	45	本試験レベルの模擬試験⑰
	16	模擬試験⑧の解説	46	模擬試験⑰の解説
	17	本試験レベルの模擬試験⑨	47	本試験レベルの模擬試験⑱
	18	模擬試験⑨の解説	48	模擬試験⑱の解説
	19	本試験レベルの模擬試験⑩	49	本試験レベルの模擬試験⑲
	20	模擬試験⑩の解説	50	模擬試験⑲の解説
	21	本試験レベルの模擬試験⑪	51	模擬試験（過去問題）
	22	模擬試験⑪の解説		
	23	本試験レベルの模擬試験⑫		
	24	模擬試験⑫の解説		
	25	本試験レベルの模擬試験⑬		
	26	模擬試験⑬の解説		
	27	本試験レベルの模擬試験⑭		
	28	模擬試験⑭の解説		
	29	本試験レベルの模擬試験⑮		
	30	模擬試験⑮の解説		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における得点で評価			
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	地方公務員試験タイプの模擬試験①
	2	模擬試験①の解説
	3	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験①
	4	模擬試験①の解説
	5	地方公務員タイプの模擬試験②
	6	模擬試験②の解説
	7	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験②
	8	模擬試験②の解説
	9	地方公務員タイプの模擬試験③
	10	模擬試験③の解説
	11	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験③
	12	模擬試験③の解説
	13	地方公務員タイプの模擬試験④
	14	模擬試験④の解説
	15	基礎的なレベル（一部応用レベルを含む）の模擬試験④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100%　模擬試験における得点で評価	
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策演習	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習 1
	2	適性検査練習 2
	3	適性検査練習 3
	4	適性検査練習 4
	5	適性検査練習 5
	6	適性検査練習 6
	7	適性検査練習 7
	8	適性検査練習 8
	9	適性検査練習 9
	10	適性検査練習 1 0
	11	適性検査練習 1 1
	12	適性検査練習 1 2
	13	適性検査練習 1 3
	14	適性検査練習 1 4
	15	適性検査練習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実習	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う	
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う	
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	精通者における講義
	2	筋力トレーニング・ストレッチ運動
	3	集団演技①
	4	集団演技②
	5	集団演技③
	6	集団演技④
	7	集団演技⑤
	8	集団演技⑥
	9	集団演技⑦
	10	集団演技⑧
	11	集団演技⑨
	12	集団演技⑩
	13	集団演技⑪
	14	集団演技⑫
	15	球技
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％ 授業への参加姿勢、出席状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	法律に関する講義を受け研究および発表を通じて考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究しプレゼンテーションを行う	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	法律概論（講義）
	2	法律の考え方（講義）
	3	課題①の研究 1
	4	課題①の研究 2
	5	課題②の研究 1
	6	課題②の研究 2
	7	課題③の研究 1
	8	課題③の研究 2
	9	研究発表シナリオ作成 1
	10	研究発表シナリオ作成 2
	11	研究発表準備 1
	12	研究発表準備 2
	13	模擬プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	法律実務学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	演習	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	自然科学分野の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生物演習①
	2	生物演習②
	3	地学演習①
	4	地学演習②
	5	物理演習①
	6	物理演習②
	7	化学演習①
	8	化学演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの得点で評価	
備考		